

生きる

谷川俊太郎 作詩
新実徳英 作曲

1 ♩=80

Sop. *p* *mf* *rit. mp* *p* *mp*
uh uh そら

Alt. *p* *mf* *mp* *p* *mp*
uh uh uh

Ten. *p* *mf* *mp* *p*
uh uh

Bass *p* *mf* *mp* *p*
uh uh

5 2 *a tempo*

に きにひとにわたしは みず かりをなげかける やがて

uh uh

uh uh やがて

uh uh

9 *f* *rit. mp* *mf*

せかいの ゆたか さ そのものとなるために ※トララ

f *mp* *mf*

ゆたか さ そのものとなるために ※トララ

f *mp* *mf*

せかいの ゆたか さ そのものとなるために ※トララ

f *mp* *mf*

ゆたか さ そのものとなるために ※トララ

※トララ=tra ra (rは巻かなくてよい)



13 **3** *a tempo* *mp*

ラ ララララララ ラララ トララ ラ ラララララララ ラララ トラララ

ラ ラララ ラララ ララ ララ ラララ ラララ ララ ラララ ラ

ラ ラララ ラララ ララ ララ ラララ ラララ ララ ララララ

ラ ラララ ラララ ララ ララ ラララ ラララ ララ ララ ラ

17 *f*

ラ ララ ララ ラララララ トララ ラララララ ララ

ラ ララ ララ ララ トララ ラ ララ ラ

ラ ララ ラララ ララ トララ ラ ララ ラ

ラ ララ ララ ララ トララ ラ ララ ラ

20 *rit.* *mp* **4** *a tempo* *mf*

ラ - わたしは - ひとをよぶ - すると

ラ ラララ ah ah

ラ ラララ ah ah

ラ ラララ ah ah

23 *f* *mp*

せ かい が - ふ り む く - ラ ラ ラ ラ ラ - ラ ラ ラ

f *mp*

ふ り む く - - - ラ ラ ラ

f *mp*

ふ り む く - - - ラ ラ ラ ラ ラ

f *mp*

ふ り む く - - - ラ ラ ラ ラ ラ

26 *mf* *f* *p* *rit.* *pp* *p*

ラ ラ - そ して わ た し が い な く な - る uh

mf *f* *p* *pp* *p*

ラ ラ ラ わ た し が uh uh uh

mf *f* *p* *pp* *p*

ラ ラ ラ ラ ラ わ た し が uh uh

mf *f* *p* *pp* *p*

ラ ラ ラ ラ わ た し が uh uh

30 *a tempo* 5 *legato sempre*

legato sempre

legato sempre

legato sempre

34 *mf p* **6** un poco più mosso

oh
oh
oh
oh

38 *poco a poco* *mf mf*

ah
ah
ah
ah

42 **7** *accel...* *cresc.*

ah
ah
ah
ah

45 8 ♩ = 120
marcato

f *marcato* い きて いる と い

f *marcato* い きて いる と い

f *marcato* い ま い きて いる

f *marcato* い ま い きて いる

49

う こと - い きて いる と い う こと - oh oh

う こと - い きて いる と い う こと - oh oh

と い う こと - い きて いる と い う こと - oh oh

と い う こと - い きて いる と い う こと - oh oh

53 9
Psub.
marcato

ff oh な - ける - と い う こと -

ff *Psub.* *marcato* oh な - ける - と い う こと

ff *Psub.* *marcato* oh な - ける と - い う こと -

ff *Psub.* *marcato* oh な - ける と - い う こと -

57 *mp* *mf*

わらえる - という こと - おこれる - という こと - - -

mp *mf*

わらえる - という こと - おこれる - という こと - - -

mp *mf*

わ ら え る と - い う こ と - お こ れ る と - い う こ と -

mp *mf*

わ ら え る と - い う こ と - お こ れ る と - い う こ と -

Meno mosso

61 *f* *ff* ♩ = 80

じゆう - という こと - oh oh ひと

f *ff*

じゆう - という こと - oh oh ひと

f *ff*

じ ゆ う と - い う こ と oh oh ひと

f *ff*

じ ゆ う と - い う こ と oh oh ひと

rit. --- (molto)

65 ¹⁰ *f* *ff*

は - あいす る と - い う こ と ラララ ラララ -

f *ff*

は - あいす る と - い う こ と ラララ ラララ -

f *ff*

は - あいす る と - い う こ と ラララ ラララ -

f *ff*

は - - あいす る と - い う こ と ラララ ラララ -

12

♩=80

81 *f*

に — ラ ララ ララ ララ ララ ララ ラ

る — ラ ララ ララ ララ ララ ララ ラ

る — そら に きにひとにわたしは みず か らを なげ—かけ

る — そら に きにひとにわたしは みず か らを なげ—かけ

85 *mf* — *f*

ラ ララ ララ ララ ララ ゆた—か—さ そのものと

ラ ララ ララ ララ ララ ゆた—か さ そのものと

る — やがて せかいの — ゆた か—さ — そのものと

る — やがて せかいの — ゆた か—さ — そのものと

Poco meno mosso

89 *ff* *rit.*

— な る た め に ah

— な る た め に ah トラララララ

— な る た め に ah

— な る た め に ah

1995年のNコン高校の部の課題曲。Nコン史上初めてのア・カベラ曲。当時のディレクターの提案だった。できてきた詩のスタイルによってはア・カベラで書けるかどうか不安だったので、谷川俊太郎さんの詩集から選び、かつ僕の音楽プランに合わせて二つの詩をエディットさせていただいた。因みに「空に樹に～そのものとなるために」までは曲先、それから谷川さんの詩集のアレコレをひっくり返した。呈示部のあとヴォーカリーズで展開されるヘテロフォニー的な部分を高校生たちに体験して欲しいと思った。(新実徳英)